

令和2年度 事業報告

ライフケアセンター オークス東海

特別養護老人ホーム オークス東海(短期入所)

オークス東海デイサービス

居宅介護支援事業所

在宅サポートオークス東海

オークスライフサイエンス学院

社会福祉法人オークス・ウェルフェア

目次

特別養護老人ホーム オークス東海	1
内部研修参加状況	4
ユニット活動報告	6
委員会活動報告	11
特別養護老人ホーム オークス東海短期入所	22
オークス東海デイサービス	23
居宅介護支援事業所 オークス東海	24
在宅サポート オークス東海	25
オークスライフサイエンス学院	30

特別養護老人ホーム オークス東海

【入居・退居状況】

1、特別養護老人ホーム利用状況

定員 90 名

市長村名		本月初日現員	入所人員	退所人員	本期末現員
東海村		65	17	16	66
ひたちなか市		12	1	3	10
水戸市		1	2	0	3
常陸太田市		2	0	2	0
日立市		4	2	1	5
那珂市		2	1	0	3
城里町		1	0	0	1
常陸大宮市		1	1	0	1
いわき市		1	0	0	1
県内計		88	23	22	89
県外計		1	0	0	1
合計		89	23	22	90
内訳	男	25	6	6	25
	女	64	18	17	65

2、特別養護老人ホーム稼働率

	2年4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働率	93.8%	95.8%	96.1%	97.4%	99.4%	99.7%
実態数	2527人	2668人	2596人	2718人	2773人	2691人
在籍数	2685人	2785人	2698人	2786人	2790人	2695人
最大可能数	2700人	2790人	2700人	2790人	2790人	2700人

	10月	11月	12月	3年1月	2月	3月	平均
稼働率	98.6%	98.0%	97.8%	96.8%	99.0%	95.7%	97.3%
実態数	2750人	2644人	2730人	2700人	2492人	2670人	2663人
在籍数	2787人	2698人	2788人	2781人	2515人	2783人	2733人
最大可能数	2790人	2700人	2790人	2790人	2520人	2790人	2738人

3、入居者介護度、年齢別状況

	人数	要介護度					年齢				平均	
		1	2	3	4	5	61～	71～	81～	91～	年齢	88歳
男	25			13	7	5	2	3	10	10	入所期間	3年4ヶ月
女	64	1	4	23	25	11		5	32	28	要介護度	3.65
計	89	1	4	36	32	16	2	8	42	38	申込者数	64人

令和3年3月

【各委員会の活動】

1、リスクマネジメント、QOL向上、質の高いケアの提供のために次の委員会活動を実施しました。

・安全感染対策委員会、給食委員会、身体拘束適正化委員会、行事レク委員会、褥瘡対策・排泄委員会、環境整備委員会、接遇教育委員会、安全衛生管理委員会。

詳細は各委員会の報告通りです。

2、施設全体の情報共有、施設運営のために次の会議を実施しました。

・ユニット会議（毎月1回）、リーダー会議（毎月1回）、運営会議（毎月1回）、入居判定会議（毎月1回）

また、法人全体の意見交換と情報共有の為に以下の部会を開催しました。

（看護部会）

感染対策のため、中止としました。

（ケアマネ部会）

毎月集会を行い、勉強会を実施しました。

【研修】

内部研修を通して、職員のスキルアップを図り、ケアの質の向上に努めました。

年間の研修参加状況は別紙をご参照ください。

【地域との繋がり】

入居者様の社会生活を継続し、更に地域福祉の拠点としての役割を果たしました。

1、地域交流

① 入居者様の外出支援、外泊支援

② 施設見学の受け入れ

見学：感染対策のため中止としました。

入居検討者： 39名

- ③ 地域園児や学生、市民活動ボランティアの慰問受け入れ
感染対策のため中止としました。

2、相談活動、苦情相談

- ① 入居者様やご家族様からの相談・苦情には、すぐに対応し、安心して生活できる環境を整えました。

・特養： 13件（5名） デイ： 0件

- ② 地域の皆様からの福祉全般にわたるご相談にも随時対応いたしました。

・来所しての介護相談、電話での介護相談がありました。

- ③ 介護相談三者連絡会（年2回）において、介護相談員様との情報交換をしました。

- ④ 頂いた苦情については、対応策を協議し謝罪・報告・掲示しました。

【福利厚生】

社会福祉法人オックス・ウェルフェア合同親睦会の規約に基づいて活動しました。

施設内研修(伝達講習)

日 時	対象	内 容	担当及び講師
4月 1・2・3・4・ 6・7日	新卒採用職員 (項目によって 中途採用職員)	施設内設備、来客への対応・個人情報保護、 認知症、防火訓練、接遇・身だしなみ、感染 対策、食中毒予防、吐物の処理、身体拘束禁 止、高齢者虐待防止、ユニットケア、看取り、 バイタルの正常値と測定方法、病状変化時の 対応、車の運転・操作、介護技術全般(排泄・ 入浴・食事・移乗)高齢者疑似体験	接遇教育委員会 褥創対策排泄委 員会 安全感染委員会 看護師 他
4月中	全職員	食中毒予防 (厚生労働省 インターネット TV 視聴)	給食委員会 (嘉 村)
5月1日	全職員	消化訓練 (消火器の使用方法など) 新型コロナ感染症対策のため使用方法を書 面で配布し、新人職員には口頭でも説明する	防火管理者(池 田)
6月中	全職員	スピーチロックについて 虐待の目チェックリスト実施・集計・報告 ※新型コロナ感染症対策のため書面で配布	身体拘束適正化 委員会
7月中	全職員	・オムツの当て方モレの発生の主なポイント ・モレを防ぐあて方、4つのポイント ・スキントラブルを防ぐために ※感染対策のため、講義での研修を中止し資 料配布により全職員へ周知してもらう。	褥創対策排泄委 員会
9月8日	全職員	防災訓練(感染対策のため書面で実施) ・地震発生時の対応について書面で配布 ・新人職員には口頭で説明	防火管理者(池 田)
10月中	全職員	新型コロナ感染症について ※新型コロナ感染症対策のため研修は中止 し、テスト方式で理解度の確認を行う	安全感染委員会 給食委員会
11月	全職員	その人らしさと尊厳	身体拘束適正化

5・11・17・ 27・30 日		不適切な身体拘束や虐待の防止には「その人らしさ」を知ることが第 1 であると理解しそのアセスメント手法が実践できる	委員会 (飛田)
2 月 9 日	R2 年度に入職した職員と、対応に不安がある職員	家族対応について事例をもとに個人ワーク実施 急変時対応について配布資料を各自確認	接遇教育委員会 (川崎捺緒)
2 月中	全職員	褥創対策 ・褥創の定義、摩擦とずれ、圧の分散、持続的な発赤 ※新型コロナ感染症対策のため使用方法を 書面で配布	褥創対策排泄委員会 (祖田)

行事報告（なでしこ・あおいユニット）

	なでしこ	あおい
4月		マスク作成レク
5月	園芸レク 花植え	牛乳寒天作り
6月		フルーツポンチ作り
7月		
8月		スイカ割り・風鈴作り
9月		
10月		
11月	園芸レク 花植え	スイートたこ焼き作り
12月	クリスマス会	クリスマス会
1月		
2月		
3月		

行事報告（ふじ・たけユニット）

	ふじ	たけ
4月		
5月	ボールレクレーション おやつレクレーション	ボードゲーム・おやつレク
6月		
7月	夏祭り	
8月		
9月	白玉作り	白玉団子作り
10月	生け花レクレーション	生け花レク
11月	たこ焼きパーティー	たこ焼きパーティー
12月	クリスマス会	クリスマス会
1月		
2月		
3月		

行事報告（かしわ・たちばなユニット）

	かしわ	たちばな
4月		お茶会
5月	クレープ作り	テラスでお茶会
6月		カラオケ大会
7月	七夕 飾り作成	ボーリング大会
8月	かき氷	夏を楽しむ会
9月		お茶会
10月	バーベキュー	お茶会
11月	たこ焼き	クリスマスの飾りつけ、リース作り
12月	クリスマス会	クリスマス会
1月	カルタ	かるた大会
2月	チョコフォンデュ	チョコフォンデュパーティー
3月	カラオケ	家族へ季節のお便り書き

行事報告（あやめ・さつきユニット）

	あやめ	さつき
4月	お花見ドライブ→中止	
5月	かるた遊び・輪投げ	施設内散歩
6月	外出レク→中止 七夕飾り製作	
7月	うちわ作り・ヨーヨー釣り くじ引き	
8月	作品作り	
9月		
10月	作品作り→生花	お茶会
11月	紅葉ドライブ→中止 輪投げ・玉入れ	
12月	クリスマス会 年賀状作り	クリスマス会
1月	新年会→中止 オークス神社へ参拝	
2月	チョコバナナクレープ作り	
3月	雛祭り・お茶会	杏仁豆腐作り

行事報告（うめ・ももユニット）

	うめ	もも
4月	花見レク 中止	花見レク 中止
5月	映画鑑賞レク 中止	映画鑑賞レク 中止
6月	外食レク 中止	外食レク 中止
7月	バーベキューレク 中止	バーベキューレク 中止
8月	外出レク 中止	外出レク 中止
9月	散歩レク 中止	散歩レク 中止
10月	外出レク 中止	外出レク 中止
11月	芋煮会レク 中止	芋煮会レク 中止
12月	忘年会レク 中止	忘年会レク 中止
1月	初詣レク 中止	初詣レク 中止
2月	おやつレク 中止	おやつレク 中止
3月	デリバリー食事会	デリバリー食事会

安全・感染委員会

月	活動内容	担当者	備考
4月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・前年度活動報告・計画 ・内部研修①準備	林	
5月	新型肺炎感染症拡大予防にて5月委員会中止。 ・内部研修①→中止	林	《研修①内容》医務と合同 ・救急救命講習 →希望者のみ PCR 方法指導 →緊急時マニュアル配布
6月	感染拡大予防にて15分以内で委員会施行。 ・ひやりはっと、事故報告書件数報告 ・連絡事項	斉藤	6月～感染拡大予防の為、委員会時間は15分以内、換気を徹底して行う事
7月	・ひやりはっと、事故報告書件数報告 ・連絡事項	林	新型肺炎感染症対策マニュアル策定
8月	・ひやりはっと、事故報告書件数報告 ・連絡事項	林	
9月	・ひやりはっと、事故報告書件数報告 ・連絡事項	林	
10月	・ひやりはっと、事故報告書件数報告 ・連絡事項 ・内部研修②→中止する。	林	《研修②内容》給食委員会と合同 新型肺炎感染症対策テスト作成
11月	・ひやりはっと、事故報告書件数報告 ・連絡事項 ・内部研修②→感染症対策テスト施行	林	新型肺炎感染症マニュアルをもとにテストを作成 配布日11/10、提出締切り11/25、集計11/30、配布人80名うち提出60名
12月	・ひやりはっと、事故報告書件数報告 ・連絡事項	林	
1月	・ひやりはっと、事故報告書件数報告 ・連絡事項	林	
2月	・ひやりはっと、事故報告書件数報告 ・連絡事項	林	定期巡回職員対象救急救命講習
3月	・ひやりはっと、事故報告書件数報告 ・連絡事項 ・年間活動の反省と次年度の活動計画	植田	次年度の内部研修の検討

給食委員会

食べるということは最も自然な栄養補給方法です。食べることによって食欲が満たされ、満足感が得られます。家族や友人など誰かと一緒に食卓を囲み、快い食事をする事で、栄養分の吸収力が高まり、ストレスの解消や心の安定も得られます。

ただ生きるためだけの食事を提供するのではなく、食事の意味、楽しさ、大切さといった「心の栄養」を提供することを目標とした活動を行いました。

① 年間活動・行事報告

4月	バイキング	10月	十三夜/バイキング
5月	こどもの日/バイキング	11月	バイキング
6月	バイキング	12月	冬至/クリスマス/バイキング/大晦日
7月	七夕/土用の丑の日/バイキング	1月	正月/七草粥/バイキング
8月	バイキング	2月	節分/バイキング
9月	敬老の日/十五夜/バイキング	3月	ひな祭り/バイキング※

※新型コロナウイルス感染症予防のため、令和2年3月18日以降に実施を予定されていたバイキングは中止となりました。

② 月別平均食事提供数（職員含む）

	朝食	昼食	夕食	合計
4月	87.4	121.0	87.6	296.0
5月	91.8	122.1	92.0	305.9
6月	90.7	125.9	90.8	307.4
7月	90.3	127.6	91.0	308.9
8月	91.2	126.5	91.4	309.1
9月	90.5	127.9	90.8	309.2
10月	91.1	128.6	91.4	311.1
11月	92.9	128.5	93.2	314.6
12月	92.0	128.8	92.1	312.9
1月	93.2	128.3	93.6	315.1
2月	94.4	131.7	94.7	320.8
3月	91.5	129.4	91.7	312.6
年間	91.4	127.2	91.7	310.3

③ 給食委員会活動内容

月	活動内容	備考
4月	・ 定例会 ・ 年間活動計画立案・見直し	定例会 ・ 利用者（特養/ショート/デイ）の身体状況及び 栄養状態の報告、対策の検討 上半期施設内部研修 ・ ノロウイルス等の食中毒防止のための適切な手洗い 動画視聴 下半期施設内部研修 ・ 新型肺炎感染症対策テスト実施 （安全・感染対策委員会と合同で実施）
5月	・ 定例会	
6月	・ 定例会 ・ 上半期施設内部研修準備	
7月	・ 定例会 ・ 上半期施設内部研修実施	
8月	・ 定例会 ・ 上半期施設内部研修反省	
9月	・ 定例会	
10月	・ 定例会 ・ 下半期施設内部研修準備	
11月	・ 定例会 ・ 下半期施設内部研修実施	
12月	・ 定例会 ・ 下半期施設内部研修反省	
1月	・ 定例会	
2月	・ 定例会	
3月	・ 定例会 ・ 嗜好調査 ・ 本年度活動反省	

身体拘束適正化委員会

月	実施予定日	内容	
4月	14日	定例会議	
	25～30日	実態調査	身体拘束の実施なし
	未定	新人研修	
5月	12日	定例会議・虐待の芽チェック 調査実施	
	25～31日	実態調査	身体拘束の実施なし
6月	9日	定例会議	
	24日～30日	実態調査	身体拘束の実施なし
	上旬	施設内研修 『スピーチロックについて』	全職員に資料を配布し各自で学びを 深めてもらう。
7月	14日	定例会議	
	25～31日	実態調査	身体拘束の実施なし
8月	11日	定例会議	
	25～31日	実態調査	身体拘束の実施なし
9月	8日	定例会議	
	24～30日	実態調査	身体拘束の実施なし
10月	13日	定例会議	
	25～31日	実態調査	身体拘束の実施なし
11月	12日	定例会議	
	24～30日	実態調査	身体拘束の実施なし
	5・11・17・27・ 30日(同内容)	施設内研修 『認知症とは ～権利と尊厳～』	個別ワーク・センター方式シート使用 同じ内容を複数回実施し、全職員に参 加してもらう。
12月	10日	定例会議	
	25～31日	実態調査	身体拘束の実施なし
1月	12日	定例会議	
	25～31日	実態調査	身体拘束の実施なし
2月	9日予定	定例会議	

	22～28 日	実態調査	身体拘束の実施なし
3 月	9 日予定	定例会議	
	25～31 日	実態調査	身体拘束の実施なし

<振り返り>

- ・年間を通して身体拘束の実施はなかった。
- ・新型コロナ感染対策のため 6 月の研修は資料配布し各自で学びを深めてもらうこととした。

11 月は感染対策を徹底し、例年だと同内容で 3 回開催の研修を 4 回にして人数を分散し、またグループワークではなく、個別ワークをメインにした研修内容としたため、感染対策中でも実施することができた。

<次年度に向けての提案>

- ・虐待の芽チェックリストは、無記名ではあったがユニット毎にまとめて記入し提出としていたため、気を使った回答になっていた可能性もあったと考えられる。次年度は一人 1 枚(無記名)で、回収ボックスへ提出する形で実施したい。
- ・グループワークの方が日頃感じていることを他スタッフと共有できたり、他スタッフの考えなども聞けるため、感染の状況にもよるができればグループワークの研修会を実施したい。
- ・認知症の理解を深めることで利用者さんへの言葉掛けや対応が適切にできるようになり、スピーチロックの防止につながる。研修を通して繰り返し学んでいくことが大切だと思う。

行事・レク委員会

月	行事	活動内容
4月	①定例会	委員紹介、活動内容確認、納涼祭の企画、担当割り振り 予定していたお花見は、新型コロナウイルス感染症防止の為に中止致しました。
	②年間活動計画立案	
	③お花見④誕生会	
5月	①定例会	新型コロナウイルス感染症防止の為に、納涼祭の代わりに夏祭りとしての予定変更。ユニット毎に一斉に行うように企画する。日時の調整。役割分担。
	②端午の節句	
	③誕生会	
6月	①定例会	ユニット毎に統一し、企画決定。日時決定。7月22日(水)13:30～15:00 各ユニット。うちわ作り、ヨーヨー釣り。レク委員でお神輿を出し福引き抽選をし、ユニットを回る予定。夏祭り準備。
	②誕生会	
	③七夕準備	
7月	①定例会	夏祭り準備。各ユニットへ提灯飾り。最終確認7月22日(水)。納涼祭中止し、ご家族様の参加も出来ない為、ユニット毎で夏祭りの開催。少しでも入居者様に楽しんで頂きました。昼食も、焼きそば、お好み焼き、チョコバナナ、きゅうり漬け、けんちん汁提供。
	②納涼祭	
	③誕生会	
8月	①定例会	敬老会の準備。企画、日時決定。9月16日(水)デイホールでは行わず、各ユニットの表彰者へセンター長とレク委員で回る予定。写真の展示。プレゼントは各ユニットへ依頼する。
	②誕生会	

9月	①定例会	9/16(水)午前中 全ユニット。 敬老会実行…各ユニットにセンター長と回り表彰式や記念撮影をしました。1階エレベーター前に表彰者の写真を提示しました。ユニット毎にプレゼントも渡しました。
	②敬老会	
	③誕生会	
10月	①定例会	新型コロナウイルス感染症防止の為紅葉ドライブは中止。新年会も中止する予定。初詣だけは出来るように企画する。神社設置の準備。
	②紅葉ドライブ	
	③誕生会	
11月	①定例会	新型コロナウイルス感染症防止の為紅葉ドライブは中止。神社設置の為の準備。
	②紅葉ドライブ	
	③誕生会	
12月	①定例会	神社作成、最終確認、設置。各ユニットでクリスマス会を企画。用意したプレゼントを渡して、ケーキを食べて過ごしていただきました。
	②クリスマス会	
	③誕生会	
1月	①定例会	船場ホールに手作り神社を設置し初詣。おみくじ、絵馬に願い事を書いてもらえるようにしました。フォトスポットも用意してたくさんの写真も撮ってもらいました。新年会は中止となりました。
	②新年会	
	③誕生会	
2月	①定例会	各ユニットへの節分での豆まきは中止しました。各ユニットへ節分に関わる鬼などの塗り絵を配り、ユニットへかざっていただきました。
	②節分	
	③誕生会	
3月	①定例会	1年間の振り返り 各ユニットで雛祭りの企画、装飾。おやつや食事を桃の節句用にしてもらい、春の訪れを感じていただきました。
	②雛祭り	
	④誕生会	

褥瘡対策・排泄委員会

○メンバー：

石井、高際、嘉村、斉藤(幸)、河西、青木、神永、飯塚、長嶋、小堀、高野、田所
福田、鈴木(ま)、桐原

○定例会開催：毎月第1火曜日 14時より

◎活動方針：

- ・オムツ発注・補充・在庫管理業務を通し、最適な排泄環境を提供する。
- ・オムツ使用者の課題点を出し合い、意見交換や解決に向けての話し合いを行う。
- ・メーカー担当者招致による内部研修や、施設内勉強会を開催し、職員の排泄の知識と技術の向上を図る。
- ・看護師、管理栄養士、ユニットスタッフ間の情報共有を行い、褥瘡になりそうな方、現在なっている方の把握をし、対策を行う。

◎月別実施報告

- | | | | |
|-----|-------------------------------------|-----------------------------|-----------|
| 4月 | ①定例会 | ②オムツ使用状況調査 | ③年間活動計画立案 |
| 5月 | ①定例会 | ②オムツ使用状況報告 | ③発注方法等検討 |
| 6月 | ①定例会 | | |
| 7月 | ①定例会 | ②内部研修開催（各スタッフへの資料配布） | |
| 8月 | ①定例会 | | |
| 9月 | ①定例会 | | |
| 10月 | ①定例会 | | |
| 11月 | ①定例会 | ②褥瘡対策内部研修打ち合わせ | |
| 12月 | ①定例会 | ②褥瘡対策内部研修打ち合わせ | |
| 1月 | ①褥瘡対策内部研修(施設内職員による)開催見合わせ、資料配布へ変更する | | |
| 2月 | ①定例会 | ②褥瘡対策内部研修「褥瘡の定義」等の資料を全職員へ配布 | |
| 3月 | ①定例会 | ②年間活動報告 年度末反省会 | |

反省点

- ① 退職によりメンバーの変更があったが、協力しあい排泄業務に支障が無いように発注・出庫が行えた。
- ② 7月に実施予定だったメーカー様を招致しての勉強会は、新型コロナウイルス感染症の為、開催することが出来なかった。そのため各スタッフへ資料を配布する対応をとった。
- ③ 委員会内でグループラインを作ったことにより情報の共有をスムーズに行なうことが出来た。
- ④ 褥瘡についての話し合いでは、看護師、管理栄養士、ユニットスタッフ間の情報共有を行うことができた。
- ⑤ 1月に開催予定だった外部講習受講しての研修が、新型コロナ感染予防のため実施できなかった。施設職員による「褥瘡の定義」等の資料を全職員へ配布した。

環境整備委員会

- 4月 委員会開催・意見交換・カーテン清掃依頼
- 5月 委員会開催・意見交換・各ユニットへの排水溝、居室エアコンの清掃依頼
- 6月 委員会開催・大掃除前の清掃箇所、水源、物品の確認
- 7月 施設内エアコンフィルター清掃（大掃除報告書あり）
- 8月 委員会開催・意見交換・職員玄関入口水道清掃
- 9月 委員会開催・意見交換・各ユニットの巡回
- 10月 委員会開催・意見交換
- 11月 委員会開催・意見交換
- 12月 施設内エアコンフィルター清掃
- 1月 委員会開催・意見交換
- 2月 委員会開催・意見交換・年度末反省・清掃箇所の見回り
- 3月 委員会開催・年度末清掃（落ち葉掃き・特浴清掃）

接遇教育委員会

- 4月 ①定例会議
②年間活動計画立案
③新卒職員研修
- 5月 ①定例会議
- 6月 ①定例会議
②職員対象公用車研修（6/10、6/25）
- 7月 ①定例会議
- 8月 ①定例会議
- 9月 ①定例会議
- 10月 ①定例会議
②職員対象公用車研修（10/14、10/28）
- 11月 ①定例会議
- 12月 ①定例会議
- 1月 ①定例会議
- 2月 ①定例会議
②対象職員研修（家族対応、救急対応等について）
- 3月 ①定例会議
②年間活動報告、年間反省会

*不定期、抜き打ちで月の担当者が職員の身だしなみチェックを行う。

内容

定例会議においては、身だしなみチェックにおける問題点の共有、チェック表の改訂、対象職員研修内容の決定、公用車研修の担当決め、参加者確認 等を行っている。

2月の対象職員研修についてはコロナウイルス感染防止の為研修会は開かず主に入職、経験年数2年以下を対象とし、資料の配布、個人ワークの実施と提出を行っている。

以上

安全衛生管理委員会

月	活動内容
4月	委員会 職場巡視
5月	委員会 職場巡視
6月	委員会 職場巡視
7月	委員会 職場巡視
8月	委員会 職場巡視
9月	委員会 職場巡視
10月	委員会 職場巡視
11月	委員会 職場巡視 健康診断・腰痛調査・ストレスチェック実施(全職員)
12月	委員会 職場巡視 健康診断・腰痛調査・ストレスチェック結果確認(産業医)
1月	委員会 職場巡視
2月	委員会 職場巡視
3月	委員会 職場巡視

<振り返り>

- ・感染対策のため産業医師が来られず、職場巡視も代理にて実施し電話による相談と報告が多い年になった。
- ・感染対策による職員の負担やストレスも多かったと思われる。
(産業医との面談の希望者はいなかった)

特別養護老人ホーム オークス東海 短期入所

「本人・家族に身体的・精神的な安心を提供する」をショートステイの基本理念とし、本人様・家族様がショートステイを利用して良かったと感じることができるよう、活力のある有意義なサービスの提供を目標にまいりました。

1、活動行事（特養の行事を含む）

- 4月 マスク作成レク
- 5月 牛乳寒天作り
- 6月 フルーツポンチ作り
- 7月 納涼祭
- 8月 スイカ割り、風鈴作り
- 9月 敬老会
- 11月 スイートたこ焼き作り
- 12月 クリスマス会

2、稼働率

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
74.3%	84.2%	70.7%	71.3%	87.4%	80.3%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
77.1%	88.7%	87.1%	78.4%	92.1%	88.4%	81.7%

オークス東海デイサービス

利用者の有する能力に応じ、可能な限りの自立した日常生活を営むことができるように支援することを目標として、利用者、家族の要望に応じ、自宅での生活が維持できるように支援してきました。

1、活動行事

- 4月 誕生会、選択レクリエーション
- 5月 誕生会、選択レクリエーション
- 6月 6月3日避難訓練（台風想定）、誕生会、選択レクリエーション
- 7月 誕生会、選択レクリエーション
- 8月 誕生会、選択レクリエーション
- 9月 敬老会、誕生会、選択レクリエーション
- 10月 運動会、誕生会、選択レクリエーション
- 11月 誕生会、選択レクリエーション
- 12月 クリスマス会、誕生会、12月23日避難訓練（火災想定）
- 1月 初詣（施設内手作り神社）、壁画作り、誕生会
- 2月 節分イベント、誕生会
- 3月 ひなまつりイベント、誕生会

※コロナウイルス感染防止のため、外出、外食は中止する。

2、稼働率

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
72.1%	73.7%	80.7%	83.8%	83.5%	84.8%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
86.1%	85.6%	82.8%	86.7%	89.9%	89.4%	83.3%

居宅介護支援事業所オークス東海

1.契約者数(要介護 要支援)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	7	1	5	4	1	4	3	7	4	4	4	7	51
支援	1	0	0	0	2	2	1	0	2	0	0	0	8

※契約はしたが退院できない、サービスの利用希望がない(家族は希望していたが本人が拒否される)場合など、実績につながらないケース有り

2.実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
I 1	65	64	67	70	69	69	69	73	72	71	75	78	842
I 2	38	39	35	37	37	38	38	41	44	43	40	40	470
支援	26	26	25	27	29	31	30	28	27	27	26	26	328

※ I 1:要介護 1,2 I 2:要介護 3~5

※支援:事業対象者 要支援 1,2

3.各種加算算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回(介)	7	2	5	4	3	4	1	5	3	3	4	7	48
初回(支)	1	0	0	0	2	2	1	0	2	0	0	0	8
入院時 I	0	1	0	0	2	0	1	4	3	1	1	4	17
入院時 II	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	4
退院 I 1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4
退院 I 2	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	8
退院 II 2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2

※初回(介):要介護 1~5 初回(支):事業対象者要支援 1,2

4.認定調査受託件数(東海村・ひたちなか市)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東海	6	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8
ひたちなか	2	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	9

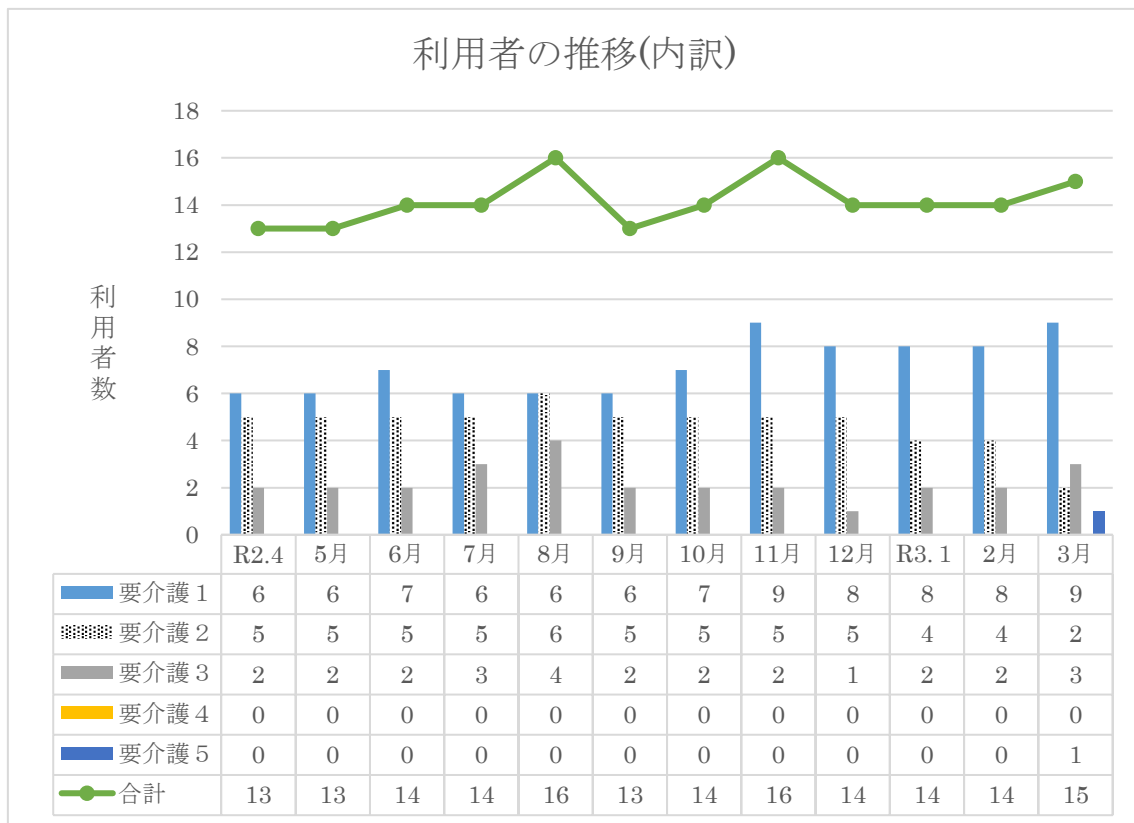
※新型コロナ感染の影響により、更新申請に対する特例申請があり、今年度は全体的に更新申請者数が減っている。また、感染予防の観点から受託を断っていた期間有り。

在宅サポートオークス東海

1. 運営状況報告

(1) 定期巡回サービス利用状況

① 介護度別利用者数、推移(内訳)



平均介護度：介 1.8 平均年齢：84 歳 男性：3 名 女性：12 名

(R3.3 現在)

② 利用開始・利用停止の理由

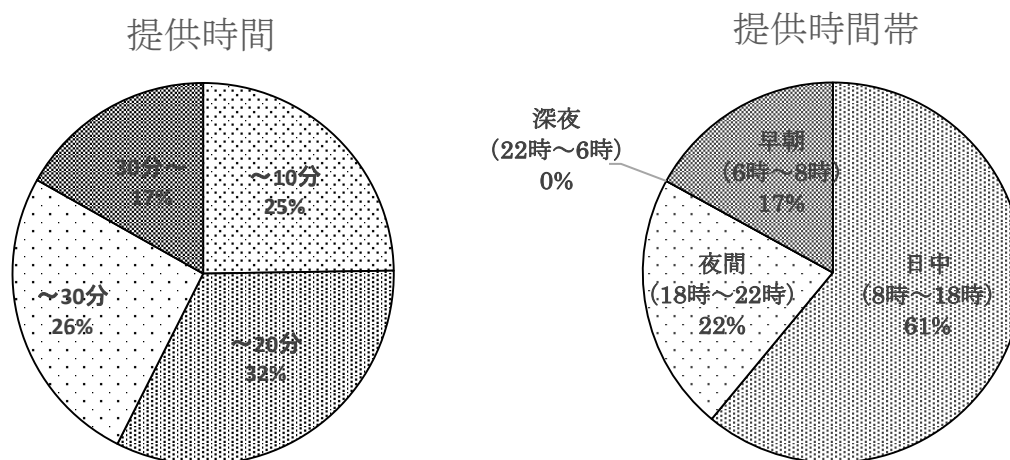
【開始】

- 服薬確認、介助 (4)
- 安否確認、見守り (3)
- 退院直後、ADL低下 (1)
- 看取り (2)
- 排泄介助 (3)

【停止】

- 死亡 (3)
- 入院 (1)
- 入居 (6)
- ADL向上 (1)

③ 提供時間、時間帯



④ 1日あたりの訪問回数(介護度別)、提供ケア内容

介1：2回/週～2回/日（平均0.9回）

介2：2回/週～2回/日（平均1.1回）

介3：2,3回（平均2.2回）

介5：3回～

提供ケア内容：安否確認・見守り、服薬介助・確認、排泄介助、食事の提供
買い物、他

⑤ コール対応

時間帯	早期(6-8)	日中(8-18)	夜間(18-22)	深夜(22-6)
コール件数	8件	12件	5件	6件
内容	体調不良(3) 誤報(1) 排泄介助(5)	体調不良(3) _{※1} 誤報(2) _{※2} 排泄介助(6) その他(1)	体調不良(1) _{※1} 誤報(4)	体調不良(1) (23:40) 誤報(4) _{※2}
対応状況	訪問対応(7) 会話対応(1)	訪問対応(11) 会話対応(1)	訪問対応(2) 会話対応(3)	訪問対応(5) 会話対応(1)

体調不良：介護職員の訪問で様子観察中に落ち着くことがほとんどである。

※1 事業所内の看護師や主治医と連携し対応した。

誤報：ペンダント通報の折り返し電話に出ない場合は訪問し安否確認している。

※2 首にぶら下げて使用する緊通ペンダントの取り扱いで間違っって押してしまった。

排泄介助：早期・日中の排泄介助のほとんどは看取りの利用者対応。

(2) 職員

- ・通常は看護師含め 4 名から 6 名体制でサービス提供を行っているが、職員としては、法人内で看護師 3 名以上、介護福祉士 5 名以上登録している。
 - ・アイドルタイム(待機時間)への対応
- 法人内特養との兼務のため、業務量が少ない時間帯には他サービス(ユニット)の応援に回るなどして、人員の効率的な運用を図っている。

(3) 訪問看護

- ・定期巡回の介護看護一体型の訪問看護のみ提供している。その際、主治医の指示や当事業所の介護従事者と連携をしながら、自宅で健康状態の観察・療養上のお世話や日常生活動作の訓練を行っている。

(4) 訪問介護サービス(介護予防・日常支援総合事業含む)

- ・将来的に定期巡回サービスへの移行を考えている訪問介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護に適さない訪問については、従来の訪問介護サービスで対応している。R3 年 3 月現在 2 名

2. 利用者の生活の質の向上

① 安定した生活

- ・状態が不安定な利用者や独居であっても、サービス提供しながらアセスメントを行い、必要なサービス回数・内容等を適時変更することで、生活のリズムが生まれ、状態安定に結びついている。

② 不安解消

- ・包括サービス(24 時間 365 日対応)であるため、サービスを提供していない時間においても、発生した事故、病状の急変、精神的な不安について包括的に対応することで、利用者・家族の不安解消につながっている。

③ 環境整備・自立支援

- ・ガスから IH に変更など、環境の変化に適応できるように、声かけや助言、又は一緒に取り組むことにより、自立した日常生活営むことが出来ている。

3. スタッフの質・サービスの質の向上

《研修》

- ①寄り添う介護
- ②安心安楽
- ③在宅生活の継続

	事業所内研修	オークス東海内研修	外部研修
4月	新型コロナ感染予防対策 (オークス東海・事業所の対応)	食中毒予防(給食委主催) 動画(厚労省)視聴	
5月		消化訓練(消火器の使い方)	
6月		スピーチロックについて (身体拘束委主催)	
7月	社会資源の活用 (市町村サービスの把握)	おむつの当て方 スキントラブル防止 (褥瘡対策排泄委主催)	
8月			
9月	権利擁護・成年後見制度の理解	防災訓練(地震発生時)	
10月		感染症について(安感委) クイズ方式	
11月		「その人らしさと尊厳」 5, 11, 17, 27, 30 (身体拘束委主催) 個人ワーク	
12月	リスクマネジメント (緊急時の対応)		
1月			
2月	救急救命蘇生法(看護部)	褥瘡について(褥瘡対策委)	
3月	ストレスマネジメント (腰痛予防：ラジオ体操)		

《勤務体制の確保》

事業所研修	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務表を作成する際に、出来る限り全員参加できるよう配慮する。 ・参加出来ない場合は、別日に対応する。
オークス東海内研修	<ul style="list-style-type: none"> ・通年全員参加となっておりますが、新型コロナ感染防止のため、11月の研修以外は資料を配布し理解を深めました。
外部研修	今年度は新型コロナ感染防止のため中止としました。

4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の推進

・定期巡回運営推進会議の開催（年2回）

医療関係者を含めた地域の関係者等(利用者、利用者家族、地域の医療関係者、地域住民、市町村職員、地域包括支援センターの職員等)に対し、提供しているサービス内容や運営状況等について報告し、地域における介護及び医療に関する課題について関係者が情報共有を行い、介護と医療の連携を図っている。

今年度は新型コロナ感染防止のため、書類で活動報告を行い、MCS で質問や意見交換を行った。

5. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組み

サービス提供前に利用者の体温を計測し、発熱時は相談及び受診を促し、サービス提供にあたっては地域の保健所とよく相談した上で、居宅介護支援事業所等と連携し、サービスの必要性を再度検討の上、感染防止策を徹底させてサービスを提供するとし、感染拡大の防止に務めた。

①持ち込まない対策

- ・マスク、手洗い、アルコール消毒等の徹底
- ・不要不急の外出を自粛
- ・三密の回避
- ・行動履歴の記録
- ・健康管理・観察（体温計測1日3回以上、風邪症状の有無）

②拡げない対策

- ・健康状態の変化を早期に発見する

③持ち出さない対策

- ・適切なケアの施行、その後の処理を正確に行う

介護職員初任者研修養成講座

①研修期間

第1回 令和2年5月19日～令和2年7月28日

第2回 令和2年9月15日～令和2年11月24日

第3回 令和3年1月19日～令和3年3月26日

②研修科目及び研修時間数 (15日間 130時間)

科目	スクーリング	自宅学習
1. 職務の理解	6時間	
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	1時間30分	7時間30分
3. 介護の基本	3時間	3時間
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	1時間30分	7時間30分
5. 介護におけるコミュニケーション	3時間	3時間
6. 老化の理解	3時間	3時間
7. 認知症の理解	3時間	3時間
8. 障害の理解	1時間30分	1時間30分
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	63時間	12時間
10. 振り返り	4時間	

③各科目の指導目標

1. 職務の理解：介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのように仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようにする。
2. 介護における尊厳の保持・自立支援：介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解してもらう。
3. 介護の基本：介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解でき、介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができるようにする。
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携：介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として、最低限知っておくべき制度の目的、サービスの流れ、各専門職の役割と責務について、その概要のポイントを列挙できるようにする。
5. 介護におけるコミュニケーション技術：高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者としての最低限の取るべき行動例を理解できるよ

うにする。

6. 老化の理解：加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解できるようにする。
7. 認知症の理解：介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則を理解できるようにする。
8. 障害の理解：障害の概念と I C F、障害福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について列挙できるようにする。
9. ころとからだのしくみと生活支援技術：①介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようにする。②尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、その人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるようにする。
10. 振り返り：研修全体を振り返り、研修を通じて学んだことについて再認識を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢と学習課題の認識を図っていく。

④受講生人数（定員10名）

第1回 （0名）

第2回 （0名）

第3回 （0名）

⑤受講料

69,000円（テキスト代含む）

⑥講師人数

13名

※上記内容で申請はしたが、コロナ感染予防の観点から開校できず、すべての回を休止としている。